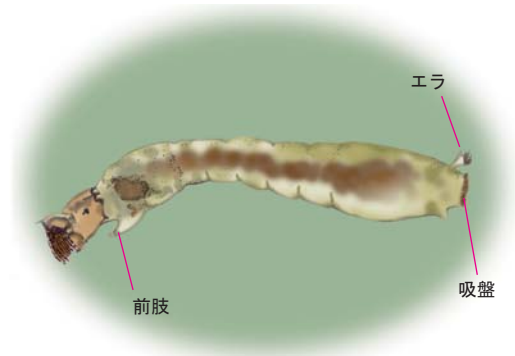


ブユ科の仲間

Simuliidae sp.

ブユ科



ブユ科の仲間のイメージ

参照：日本産水生昆虫検索図説

名前の由来

不明。漢字名：蚋

形態的特徴

幼虫の特徴：体長約6mm。体色は普通淡褐色半透明である。胸部と腹部末端で太く中間がくびれて、ひょうたんを細長くした形に似る。胸にある角のような前肢(あし)が特徴。

成虫の特徴：体長約3～6mm。透明な翅を持ち、触角は数珠状で普通11節からなる。体は黒色だが、黄色毛で覆われて

いるものが多い。肢に銀白色の斑紋があるものが多い（アシマダラブユ属）。小型のハエに似る。

類似種：なし。

生息環境・分布

多くは清流で、流れの速い場所にある礫の平滑面を好む。

環境省・国交省水質調査：「きれいな水」の指標。

分布：国外分布は、不明。

国内分布は、日本全土。

北海道内では、普通に分布。

十勝地方では、普通に分布。

食性・他の生物との関わり

流下してくる微粒子を口器の毛で濾し摂食する。

魚類の餌となる。

繁殖生態・寿命

メスは羽化後2日以内に交尾し、卵を成熟させるために吸血する。吸血2、3日後に産卵する。産卵形式は多様である。

成虫メスの寿命は約1ヶ月と推測されている。

興味深い話

■吸血されると激しい痛痒感に悩まされる。主に水質の良い河川に生息する。毒物等で駆除をすると清冽な環境を汚染することになる。

配慮事項

保全の対象ではないが、幼虫は清流に生息するため、毒物等で駆除をすると清冽な環境を汚染することになる。

生活サイクル

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
卵期・幼虫期	■								■				
成虫期						■							

参考文献

「日本産水生昆虫検索図説」川合禎次 東海大学出版会 1995

「日本動物大百科昆虫Ⅰ」日高敏隆 平凡社 1996

「川の生物図典」財団法人リバーフロント整備センター 1996

魚類

底生動物

両生類
爬虫類

トンボ

チョウ
ウ

樹木

(在来種)
草花

(外来種)
草花

哺乳類

(水辺)
鳥類

(草原・樹林)
鳥類
ワシ・タカ